

# クラブインフォメーション



発行:鳥取県体育協会

TEL:0857-28-1288 FAX:0857-28-1399 E-mail:totforiken@japan-sports.or.jp 第10号

## クラブ訪問コーナー

中村です

田淵です

### 東温市体育指導委員協議会：境スポーツクラブを視察！



平成22年2月20日（土）、愛媛県東温市から体育指導委員協議会（川内さくらクラブ）のメンバー5名が、境スポーツクラブを視察に来られました。

境スポーツクラブから総合型設立までの経緯・取組内容などのお話を熱心に聞かれました。

#### 【境スポーツクラブの方から】

昭和61年7月、米子市で中国地区体育指導員研修会があり、参加した梅木さんら女性体育指導員4名が「私

たちにできることは何か」と考え同年9月、「みんなのスポーツ」を発足させました。

取組内容として、種目を限定せず、ストレッチを基本にし、ウォーキング・体力測定など初歩的な段階から始めました。それを市報に載せてもらいPRできたので初回から145名の参加がありました。（当時の平均年齢37歳）

スポーツの普及活動をしていく上で、広報活動は大切だと思うので、1年に1回市に予算を計上してもらい、手作りの広報誌を全家庭に配布して存在をアピールしています。

平成19年4月に、文部科学省のスポーツ振興基本計画策定を受け20年間の歴史を刻んだ「みんなのスポーツ」から、より組織体制の整った総合型地域スポーツクラブ

「境スポーツクラブ」へ移行しました。体育面だけでなく、保健面も平均してやろうということで、市とタイアップして健康相談（年2、3回）・体力測定も行ってきました。お陰様で今まで25年間、大きな事故もなく続けて来られました。

指導者側も時間に余裕の出来た者が世話をし、参加する側も、それぞれの都合や好みに応じて気軽に参加できるなど、あまり拘束されないように気配りすることが大事です。

また参加した人がいかにうまく仲間の輪の中に溶け込み楽しい時間を過ごせるか、同じ仲間であってしまわないよう、出入り自由な雰囲気を作るよう心がける、などスタッフは技術指導はもちろんですが、マネジャー的な役割が大切だと思います。

スタッフの中で活動に来ないが資料作りをしたりしてくれるスタッフ（裏方）が居てくれることも強みです。



境スポーツクラブ  
角 和子さん

#### 【曾我部さんから】

「川内さくらクラブ」のスタッフは9名で、体育指導委員はその内2名です。

文化面（料理教室・絵手紙教室）・社会貢献（清掃活動）も取り入れています。

地元の野球チーム「マンダリンパイレーツ」との交流などもやっています。

東温市と境港市は人口・学校数など地域の規模が類似しています。

境スポーツクラブは無理なく運営しておられ、自由な発想で女性のパワーをものすごく感じました。

スポ少中心の川内さくらクラブに対して、境スポーツクラブは高齢者対象なので今後のクラブ運営に参考にしたいと思います。



東温市体育指導委員長  
曾我部 節美さん

25年間、人が変わっても皆同じ思いでクラブに携わっておられるのがよくわかりました。境スポーツクラブの女性パワーはすごいです。考え過ぎては何もできない、良いと思ったらチャレンジしてみる。と言われていました。クラブ運営の参考に色々なクラブとお話をどんどんしていきましょう。

# 奥大山ぶなの森クラブ&D oスポーツ\*奥大山スノーソフトバレーボール大会



みるみるうちに白銀のコートが



開会式



アタック！ブロック！



痛くない！でも冷たい！



閉会式

日野郡日野町にあるクラブ「D o. スポーツ」と、そのお隣江府町の「奥大山ぶなの森クラブ」の共同企画によるスノーソフトバレーボール大会にお邪魔しました。

この大会が生まれたきっかけは、ママさんバレーをされている江府町の体育指導委員さんの、飲み会の席での一言だったそうです。「面白そうだし、以前から隣町のD o. スポーツと一緒に何かしたいと思っていたので、すぐ話を持って行きました」とのことです。

雪上のソフトバレーというありそうでなかったこの企画、当日雪があるのかどうか心配でしたが、幸い5・6センチほどの豊かな積雪に恵まれ、ぎりぎり決行することができました。

この日集まったのは、両町のクラブ員、体育指導委員さんで構成された6チームです。さすが結束力のある皆さん、集合するやいなやてきぱきとコート作成に取り掛かれ、瞬く間に雪上コートが出来上がりました。

3チームずつに分かれ予選リーグを行い、各リーグ1位のチームで頂点を競います。

体協の中村も、江府町体指さんのチーム「マグマ体指」の一員として参戦することになりました。

「マグマ体指」は残念ながら予選リーグ全敗で決勝に進むことはできませんでした。敗因として、メンバー間の声掛け不足、中村メンバーが若干足を引っ張り気味であったことが考えられます。

雪の上だからこけても痛くないしやりやすそうだな…とっていました。確かに痛くはなかったのですが、雪に足を取られ、滑って思うように動けません。また、屋外ならではの太陽光線、風にも悩まされました。

ボールを追って滑ってこける人、太陽光線によるトスミスが続出し、悲鳴、笑い声が響き渡る、予選からテンションの高い試合運びとなりました。

日が高くなるにつれ気温が上昇し、コート内の雪が土と混じり始めましたが、各予選リーグから勝ち上がったチーム「みず」とチーム「デブ」の決勝戦では、白熱した攻防が繰り広げられました。大接戦の結果、21対17でチーム「みず」が見事優勝！

第1回目ということで試験的に行って見て、時期、会場、ルールなどについての課題も出てきましたが、「自分たちがやって楽しい」ことが最大のポイントだと言われていました。

次回は早い段階から企画し、もう少し規模を広げて開催したいということです。

「自分たちも楽しみながら」という、忘れてしまいがちですが一番大切なことを教えてもらった一日でした。皆さまお疲れさまでした。



行くなよー！ソーレツ



美しい大山！天気も最高



優勝したチーム「みず」のメンバー



おめでとうございます！

優勝チーム「みず」

独占インタビュー

——勝因は？

高橋伸也さん：やはり日頃培っているコミュニケーションでしょうか。

チームワークは日々のコミュニケーションから積み上げられていくものだと思います。今日は日頃の成果を発揮し、優勝できてうれしいです。これを肴に、今夜もまたおいしいお酒が飲めそうです。

## ★ 試合結果 ★

優勝

みず 21 - 17 デブ

第3位

ガロ 21 - 18 ポコポコ

第5位

ムニョ 21 - 15 マグマ